

老朽化したインフラ設備の更新により災害時の被害拡大を防止 (北海道札幌市)

事業者：国立大学法人北海道大学



全自動ヘリウム液化システム（北海道大学内外の利用者に対して液化ヘリウムを供給）



対策名： No.121 国立大学等の基盤的インフラ設備の強靱化に向けた緊急対策

事業名： 「全自動ヘリウム液化システム」の整備

- ポイント**
- 老朽化等により早急に整備が必要な基盤的インフラ設備を整備
 - 災害発生時における破損・破裂などによる被害拡大を防止

地域の概要・課題

本システムは北海道大学の理学研究院極低温液化センターに設置しているヘリウム液化機を中心に構成されており、北海道地区唯一のヘリウム液化施設として、学内外の利用者に対して安定的な液化ヘリウムの供給を行っておりますが、導入後15年以上が経過し、老朽化が進んでいる状況です。

事業の概要

本事業は、ヘリウムガスの回収、精製、再液化を通じた安定供給に資する「全自動ヘリウム液化システム」を整備するものです。

【見込まれる効果】

本事業により、老朽化した装置を更新することで、地震をはじめとする災害発生時の破損・破裂等による被害拡大の防止につながります。

また、ヘリウムは大学病院の手術室などで画像診断を行う際にも使用されることから、災害時における安定した医療活動の実施にも資することができます。

